

立原道造の詩による混声合唱曲

8 民謡

9 鳥啼くときに

10 甘たるく感傷的な歌

11 薄明

澤田 博

composition pour choeur mélangé par 4 poèmes de TACHIHARA michizô

8 folklore

9 quand l'oiseau chante

10 le chant scuré et sentimental

11 le crépuscule

SAWADA hiroschi

キーワード：日本語 関西アクセント 現代歌曲

Key words: JAPANESE ACCENT OF KANSAI-REGION CONTEMPORARY SONG

立原道造の詩による混声合唱曲

8° 民謡

立原道造・詩
澤田博・曲

Andante cantabile (♩=72)

musical score for soprano, alto, tenor, and bass with lyrics:

soprano: しらべを 引き出さない

alto: いとは 張-れ-て-ゐるか? おう だれもか

tenor: それからしらべを-

basse: 申ひを

Andante cantabile

piano accompaniment for the first system.

musical score for soprano and alto with lyrics:

soprano: しらべ...かに

alto: ふれると老いたかなし みが-しつ

tenor: かへつて来た

basse: ちみさうの うつは

piano accompaniment for the second system.

musical score for soprano, alto, tenor, and bass with lyrics:

soprano: ある日 あまいうたがどなた その

alto: そのおむひでに

tenor: と きを-り

basse: ひとば ひとばときをり これを手に とりあげる

Lyrics continued: かりいひひ、これを手に とりあげる、申ひがとふ(ア)

piano accompaniment for the third system.

Handwritten musical score for the first system. It includes four vocal staves (Soprano, Alto, Tenor, Bass) and a piano accompaniment. The lyrics are in Japanese. The piano part features a steady eighth-note accompaniment.

Vocal lyrics:
 し らべ が 眼 を さます 指をくみあはす うたの なかに
 や さ し い し らべ が ふ り ぎ た う た の な か に
 や さ し い し らべ が ゆ び を く み あ は す ふ り ぎ た う た の な か に

Handwritten musical score for the second system. It includes four vocal staves and a piano accompaniment. The piano part has a more complex texture with some triplets and dynamic markings.

Vocal lyrics:
 div. す め ぬ ぬ や お が け ぬ ぬ unis. お ま へ は ー う
 す め ぬ ぬ や お が け ぬ ぬ お ま へ は ー う

Handwritten musical score for the third system. It includes four vocal staves and a piano accompaniment. The piano part features a more active accompaniment with some triplets and dynamic markings.

Vocal lyrics:
 つ - く し か - っ た
 つ - く し か - っ た
 つ - く し か - っ た
 つ - く し か - っ た

mercredi, le 31 dicembre 2014

立原道造の詩による混声合唱曲

立原道造・詩

澤田博・曲

鳥啼くときに

Tempo di valse (♩=132)

Soprano

alto

Tenor

basse

Tempo di valse (♩=132)

piano

ある日 ことりを きいたとき

きいた きいたとき わたしの おねは と きめいた

みみき みたした

みみき

pochetto meno mosso

a tempo

cresc.

みみき みたした なんと やさしい わらわー じまだ

しじまの なかに

なんと やさしい わらわー じまだ

みたしたー しじまの

pochetto meno mosso

a tempo

cresc.

stacc.

più lento (♩=120)

にほひの ままのは な のい ろ とひゆく くもの たがれか た とひゆく くもの

più lento (♩=120)

riten. *Tempo I*

ゆびさし 目で進む ところ な く やすんで みた おひさしり うつ

riten. *Tempo I*

stacc.

p

とりして ちひさいゆみま るがいて

simile

simile

Tranquillo (♩=88)

p *mf* *p* *accel.*

あ の とらに 消えてゆく
消えてゆく
あ の とらに 消えてゆく
そのうたも や はり

Tranquillo (♩=88)

poco f *mf* *p* *accel.* *cresc.*

Tempo I

f *mf* *mf*

消えてゆく *< せ* 消えてゆく おおれ
わがさの とびらは ひらいて た
あをい あをい
あをい せらのい

Tempo I

f *stacc.* *mf* *simile*

Vivace

f *ff* *div.* *unis.*

ろ くに か いた
ろ くに か いた

Vivace

vendredi, le 2 janvier 2015

立原道造の詩による混声合唱曲

10° 甘たるく感傷的な歌

立原道造 詩

澤田博 曲

Andante sostenuto (♩ = 52)

p dolce

soprano
alto
tenor
basse

その日はあ かるい 野 のはなであつた

Andante sostenuto (♩ = 52)

piano

p *mp* *mf*

まつおし草 きぼうし と 名を呼ぶながら ついでにわた わたしたちのおほきな

ききう をみなへしと 名を呼ぶながら ついでにわたわた おほきな

mp *mf*

p *mf*

うでの輪 - に また - あるとき は 名を知らないは なばかりの *p*

また あるとき は 名を知らないは な はなばかり *p*

わたしたちのうでの輪に

p *cresc.* *mf* *p*

mf p

つくってあげた おまへはどのおねに たい-た

つくってあげた 光の海にのぼるの 地うに たい-た

あげた

cresc.

2 mf

光の日は すぎ-た このみちはあのみちと

あのみちはこのみちと

あのみちと 告げるみちと

あのみちはこのみちと このみちと 告げるみちと

2

mf pp

おまへではなくなった- わ たしのい-まの

おまへでは 告げるみちと

わ たしのい-まの

3

pp mf

Handwritten musical score for the first system. It features two vocal staves and a piano accompaniment. The lyrics are in Japanese. Dynamics include *p* and *mf*. The piano part includes a *p* dynamic marking.

か な し み の や う に
か な し み の や う に
さ び し く く っ て
さ び し く く っ て

Handwritten musical score for the second system, primarily piano accompaniment. It includes a *p* dynamic marking.

Handwritten musical score for the third system. It features two vocal staves and a piano accompaniment. The lyrics are in Japanese. Dynamics include *mf* and *p*. The tempo marking *più lento* is present. A vertical line with the text "diminuendo, e #1-janvier 2015" is on the right side.

そ よ い - ぞ ゐ る
そ よ い - ぞ ゐ る

Handwritten musical score for the fourth system, primarily piano accompaniment. It includes a *pp* dynamic marking and the tempo marking *più lento*. A *ped.* marking is at the bottom.

立原道造の詩による混声合唱曲

竹 薄 明

立原道造・詩

澤田博・曲

Moderato assai

Soprano I
おんがくが かくきこ える だれもいそおないの に

Soprano II
おんがくが かくきこ える だれもいそおないの に

alto
かくきこ える だれもいそおないの に

Tenor I
かくきこ える だれもいそおないの に

Tenor II
かくきこ える だれもいそおないの に

basse
かくきこ える ちひさはフー

Soprano I
かか かくきこ える だれもいそおないの に

Soprano II
かか かくきこ える だれもいそおないの に

alto
かくきこ える だれもいそおないの に

Tenor I
かくきこ える だれもいそおないの に

Tenor II
かくきこ える だれもいそおないの に

basse
かくきこ える ちひさはフー

Soprano I
まどにもたれればいい うちのうへに かげがあるのを ながめれば いい

Soprano II
まどにもたれればいい うちのうへに かげがあるのを ながめれば いい

alto
まどにもたれればいい うちのうへに かげがあるのを ながめれば いい

Tenor I
まどにもたれればいい うちのうへに かげがあるのを ながめれば いい

Tenor II
まどにもたれればいい うちのうへに かげがあるのを ながめれば いい

basse
まどにもたれればいい うちのうへに かげがあるのを ながめれば いい

あーあ なにもかも うつくしい わたしをかこんで あたたかくーかきよくー
あーあ なにもかも うつくしい わたしをかこんで あたたかく かきよく
あーあ なにもかも うつくしい わたしのかからだの あたたかくーかきよく
あーあ なにもかも うつくしい わたしのかからだの そとに あたたかくーかきよく
なにもかも うつくしい わたしのかからだの あたたかく かきよく

にほふひと わたしは ささやく ちいさな
にほふひと わたしは ささやく おまへにまた いちど
にほふひと わたしは ささやく おまへにまた いちど
にほふひと わたしは ささやく おまへにまた いちど
にほふひと わたしは ささやく おまへにまた いちど
にほふひと わたしは ささやく おまへにまた いちど
はかなきよ ああ

とどまれ ものよ うつくしさと とともに ほろろけ
とどまれ ものよ うつくしさと とともに ほろろけ
とどまれ ものよ うつくしさと とともに ほろろけ
とどまれ ものよ うつくしさと とともに ほろろけ
とどまれ ものよ うつくしさと とともに ほろろけ
とどまれ ものよ うつくしさと とともに ほろろけ

立原道造の詩による混声合唱曲

mf
 やまないおんがくの なか-なののに ことりもこのみ もたかいぞらで
 やまないおんがくの なか-なののに ことりもこのみ もたかいぞらで
 やまないおんがくの なか-なののに ことりもこのみ もたかいぞら
 やまないおんがくの なか-なののに ことりもこのみ
 やまないおんがくの なか-なののに ことりもこのみ
 やまないおんがくの なか-なののに ことりもこのみ

p mf p mf
 かけはながく 消えてしまふ
 ねむりに つき かけはながく 消えてしまふ
 ねむりに つき かけはながく 消えてしまふ
 もたかいぞらで ねむりに つき かけはながく 消えてしまふ
 なか-なののに ことりもこのみ かけはながく 消えてしまふ
 ことりもこのみ もたかいぞらで かけはながく

f psub. pp p
 してわかれる わかれ する
 してわかれる わかれ する
 してわかれる わかれ する
 してわかれる

div. M
 M div.
 M
 div. M
 M

Lundi, le 5 janvier 2015

立原道造の詩による混声合唱曲

八 民謡

立原道造

紋は張られてゐるが もつ
誰もがそれから調べを引き出さない
指を觸れると 老いたかなしみが
しづかに歸つて来た……小さな歌の器

或る日 甘い歌がやどつたその思ひ出に

人はときをりこれを手にとりあげる

弓が誘ふかろい響き――

(おお ながいとほいながれるとき)

――昔むかし野ばらが咲いてゐた

野鳩が啼いてゐた……あの頃……

さうしてその歌が人の心にやすむと

時あつて やさしい調べが眼をさます

指を組みあはす 古びた唄のなかに

――水車よ 小川よ おまへは美しかった

九 鳥啼くときに

立原道造

ある日 小鳥をきいたとき
私の胸は ときめいた
耳をひたした沈黙のなかに
なんと優しい笑ひ聲だ！

にほひのままの 花のいろ

飛び行く雲の ながれかた

指さし 目で追ひ――心なく

草のあひだに 憩んでゐた

思ひきりうつとりとして 羽蟲の

うなりに耳傾けた 小さい弓を描いて

その歌もやつぱりあの空に消えて行く

消えて行く 雲 消えて行く おそれ

若さの扉はひらいてゐた 青い青い

空のいろ 日にかがやいた！

一〇 甘たたく感傷的な歌

立原道造

その日は 明るい野の花であつた
まつむし草 桔梗 ぎぼうしゆ をみなへしと
名を呼びながら摘んでゐた
私たちの大きな腕の輪に

また或るときは名を知らない花ばかりの

花束を私はおまへにつくつてあげた

それが何かのしるしのやうに

おまへはそれを胸に抱いた

その日はすぎた あの道はこの道と

この道はあの道と 告げる人も もつ

おまへではなくなつた！

私の今の悲しみのやうに 叢には

一むらの花もつけない草の葉が

さびしく 曇つて そよいである

一一 薄明

立原道造

音楽がよくきこえる
だれも聞いてゐないのに
ちひさなフーガが 花のあひだを
草の葉のあひだを 染めてながれる

窓をひらいて 窓にもたればいい

土の上に影があるのを 眺めればいい

ああ 何もかも美しい！ 私の身體の

外に 私を圍んで暖く香よくにほふひと

私は ささやく おまへにまた一度

――はかなきよ ああ このひとときとてはにじとまれ

うつろふものよ 美しさとともに滅びゆけ！

やまない音楽のなかなかに

小鳥も果實も高い空で眠りに就き

影は長く 消えてしまふ――そして 別れる